

【参考 1】中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議

1 背景・目的

2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、中部圏の自治体や経済団体等、地域が一体となり、水素及びアンモニアのサプライチェーンの構築及び利用促進を図るため、2022 年 2 月 21 日に「中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議」を設立。

2022 年 10 月 17 日には、水素に加えアンモニアについても、カーボンニュートラルに貢献するエネルギーとして推進するため、会議名称を「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議（以下「推進会議」という。）」に変更し、推進体制を強化した。

2023 年 3 月に「中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョン」を策定、2024 年 11 月及び 2025 年 3 月に中部圏で水素やアンモニアのサプライチェーン構築に向けた相互協力に関する基本合意書を関連企業と締結した。また、同月に「2030 年に向けた水素・アンモニアサプライチェーン推進案件」を公表し、今後も引き続き、地域が一体となって、水素とアンモニアのサプライチェーン構築や需要創出・利活用促進等の取組を進めていく。

2 会議構成（2025 年 7 月 3 日現在）

会 長	愛知県知事
副会長	中部圏水素利用協議会会長
民間（2）	中部圏水素利用協議会、株式会社 JERA
経済団体（3）	名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会、中部経済同友会
行政（17）	中部経済産業局、中部地方整備局、中部地方環境事務所、 岐阜県、愛知県、三重県、 名古屋市、碧南市、豊田市、東海市、知多市、日進市、田原市、みよし市、 四日市市、名古屋港管理組合、四日市港管理組合